

# 事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	企画総務部
	12017-1	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業	室名	企画政策室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財務	会計 一般会計
	基本施策	08:新たな国土軸の形成	科	款 諸支出金
	施策の方向	02:リニア中央新幹線の実現に向けた取り組み	科目	項 基金費
戦略プロジェクト		目	目 リニア中央新幹線駅整備基金費	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	将来において、リニア中央新幹線の市内における停車駅の整備事業を展開する際の財源確保するため、リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積み立てを行うものである。(亀山市基金条例第3条)
概要	目標とする20億円に向け、計画的な基金積み立てを行う。なお、積立額は、毎年度の財政状況を勘案し、適切な額を積み立てることとする。	

		27年度	28年度
①	名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立金	計画値
	補足		実績値 50,000
			単位 千円
②	名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金残高	計画値
	補足		実績値 1,550,904
			単位 千円
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画		年度実績	
		平成27年度実績	
		積立金 50,000千円	
		年度末残高 1,550,904千円	

		計画額	予算額	決算額				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	50,000	50,000	人件費	総人件費 ①	76	
		国庫支出金				一般職員人件費 ②	76	平均給与額×③
		県支出金				所要人員 ③	0.01	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他	3,567	3,567	受益者負担額 ⑤			
		一般財源	46,433	46,433	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費		①	76		
			総コスト		⑥	50,076		

【事業の成果】 目標額20億円に向け、平成27年度当初予算に計上した5千万円の積立を行うことができた。この結果、年度末残高が目標額の77%となった。	総合判定 <b>A</b> 順調に進んだ
---	----------------------------

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】 リニア中央新幹線の整備については、東京・名古屋間の工事が始まり、今後は名古屋・大阪間のルートや中間駅の決定がその着工に向け進められていく状況である。今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれるが、市がリニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議等を通じて推進している、きたるべき東京・大阪間の早期開業と市内停車駅誘致を見据え、リニア中央新幹線駅設置後に、駅を中心としたまちづくりを早期に実施するための財源として、着実に積立を行っていく必要がある。
	【改善の方向性】 今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれるが、継続的に適切な基金の積立を行っていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 企画政策室長 豊田 達也
--------------	---------	-----------------------